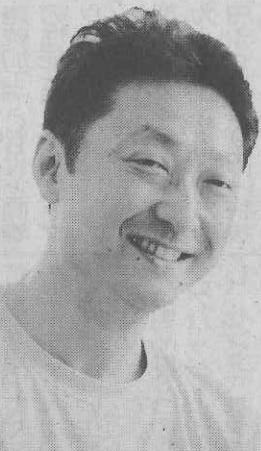


ベトナムで日本品質を

中田製作所(大阪・八尾市)



中田 寛社長

中田製作所
本社・大阪府八尾市上尾町5-1-15
電話番号...072-996-8621
代表者...中田寛社長
創業年...1977年
従業員数...36人
事業内容...半導体製造装置や液晶製造装置、光学・電子機器などのアルミ部品の超精密切削加工

足元の景況は、当社が手掛けるのは半導体製造装置や光学・電子機器、医療医薬機器などのアルミの部品。新型コロナの影響でその殆どは需要が減速している。しかしその中でも売上の半分を占める半導体製造装置向けは今なお好調だ。その理由は、5G、スマホ、データセンター、CASE。あ

らゆる分野でIT化が加速し、半導体の需要が増えているためだ。そのうねりは大きく、コロナでむしろテレワークやウェブ会議、巣ごもりなどの動きが広がり、需要を後押ししている。世界の半導体供給をめぐる米中の覇権争いが今後も需要動向にどのように影響を与えるか不透明だが、IT化の需要拡大を背景に半導体製造装置

は数年先まで生産を増やしていくと見られる。そうした状況で今、取り組んでいることは、一つは海外市場の開拓。今年2月、ベトナムに工場を新設した。現地には日本や韓国の半導体製造装置メーカーが多く進出している。現地での装置生産が拡大する中、当社が手掛ける開発や試験が手掛けの部品の需要も増えていくはず。目指すのは「日本品

質」。ベトナム工場には高精度の加工機や3次元測定機を揃え、温度環境も一定に保つ。現地スタッフは本社での研修経験があり、常に本社からウェブで指導を受け、技能を磨く。日本と同じ品質の精密部品をお届しい。そのため、「超微細小径穴加工」や「鏡面加工」など常に新たな加工技術の研究にチャレンジし、その成果を社内で共有。生命線である「人の技術力」向上に取り組ん

でいる。機械工具商に望むこと。当社のことを思い、情報提供してくれる嬉しさ。アルミ加工、海外進出、コロナによる逆風。1。こうした事業の特長や挑戦していること、取り巻く環境を鑑み、役立つ情報を提供し、より良い方向へと導いて欲しい。

人の技術力が生命線

特長に合う情報を